

平成 30 年度

学生によるオレンジリボン運動

松本大学 実施報告書



実施主体 「児童福祉」受講者

実施内容 平成 30 年 10 月 13 日、14 日の大学祭において啓発活動

①事前に取り組んだ内容

児童虐待の現状や、関連する法・制度、機関、専門職等や社会的養護、オレンジリボン運動、児童相談所全国共通ダイヤル等について学習し、それをもとに大きく4つにテーマに沿ってグループごとにディスカッションを行うことで学びを深めた。

②実施期間に取り組んだ具体的内容

事前学習とディスカッションをもとに作成したパネルの展示と説明、手作りのオレンジリボンの配布を行った。また、オレンジリボンの作成体験やオレンジリボンを模したペンシルバルーンの配布を行った。そのほか、来場者に児童虐待や子どもへのメッセージを記入してもらい、そのメッセージカードによって模造紙上でオレンジリボンを型取り、展示した。

③オレンジリボン運動を終えて…

今回の取り組みを通して、学生たちが児童虐待の現状を知り、子どもの幸せについて考える大きな機会となったと思われる。

しかしながら、児童虐待やオレンジリボンについての認知がまだまだ進んでいないことも実感することとなった。

このような取り組みを通して、少しずつではあるが、虐待への無関心をなくし、また、オレンジリボン運動に参加した学生たちが、その運動で学び得たものを広げていってほしいと思う。



【松本大学】